谷口委員

外国人観光客の受入状況と今後の戦略は

Q スキー場におけるインバウンド客の増加状況と今後の誘客方針は。また、これまでにトラブルはあったか。

A 来場者数は、令和６年度から約1.6倍の5,889人に増加した。文化の違いによる大きなトラブルはなかったが、コース外滑走の一部課題に対応しつつ、国内客の減少も踏まえ、スキー業界全体の活性化を見据えて誘客に取り組む。

澁谷委員

観光事業特別会計の公課費の内容は

Q 観光事業特別会計における1,000万円程度の公課費の支出内容は。

A 大部分が消費税によるもので、主に令和６年度の確定申告等に伴う税額の増加によるものとなっている。

決算特別委員長から



新年度の事業や予算について町に質疑をする「予算特別委員会」とは違い、すでに終了した事業や支出に対する「決算特別委員会」の質疑はそう多くはありませんが、今後の予算執行や事業の反省を踏まえ検討するためには必要な委員会です。



決算特別委員長
今井　明信　副議長

大熊委員

君の夢プロジェクトの継続的な実施を

Q 部活動の地域展開が進む中、「君の夢プロジェクト」による専門的な指導の機会は今後も継続されるのか。

A 令和10年度までは事業を継続し、専門的な指導の機会を提供するが、全部活動が地域展開された後については、現時点で未定となっており、今後の検討課題となっている。

部員数の減少や部活動の地域展開が進んでも、「君の夢プロジェクト」は今後も続けていってほしい！！



佐藤〈良〉委員

複合庁舎で高まる防災拠点機能と防災マップの周知徹底

Q 防災マップが住民に伝わっていない。複合庁舎が防災拠点となる今、行政として防災マップを作成し、適切なスキーム（仕組み）を構築することが不可欠ではないか。

A ご指摘の通り周知不足を認識している。複合庁舎に消防署と保健センターが入ることで避難所運営、災害対策の拠点として機能することを期待している。職員の防災意識も高め、災害時に臨機応変に対応できる体制の構築に努める。

人と人の繋がりが何よりも大切！！自助・共助を軸に、皆で防災意識を高め、皆で支え合う「互助」ができる町に！！



常任委員会 調査レポート

総務常任委員会（8月24・25日開催）、産業建設常任委員会（9月1日開催）がそれぞれ開かれ、所管分野に関する課題等について調査を行いました。
今号では、主な内容をピックアップし、ご紹介します。

A…委員からの質疑
Q…担当からの回答

教育課

複合庁舎建設に伴う施設利用の変更と改修

複合庁舎建設に伴い、福祉会館の貸館終了や一時的な移設、改修工事を行います。

①福祉会館の貸館終了
令和8年10月30日をもって福祉会館の貸館を終了。
【対象団体への対応】定例利用をされていた15団体の皆様には代替会場（農村環境改善センター・図書館視聴覚室）をご案内し、了承をいただいている。
【使用料について】代替会場を利用している期間は、これまでと同額でご利用いただける。

②図書館改修と事務所の一時移設
福祉会館の解体に伴い、教育委員会事務所と社会福祉協議会事務所を一時的に図書館内へ移設するため、改修工事を実施する。
【改修内容】事務所スペースの確保に加え、将来的に会議室等としても活用できるよう改修を行う。
【工事期間】9月中頃～10月末（予定）
【利用者へのお願い】工事期間中は、安全確保のため一部ご利用いただけない日が生じる場合があります。事前にしっかりとお知らせしますので、ご協力をお願いします。

教育課

田中学園による英語授業を視察

8月25日（火）に比布中央学校を訪れ、5年生と9年生の英語授業の視察を行いました。
学校法人田中学園から派遣されている3名の講師による素晴らしい英語授業の様子を委員が直接視察し、子どもたちが生き生きと学ぶ実践的な授業風景を確認しました。
今回の視察で得られた知見を、今後の教育環境の充実や議会活動における政策提言にしっかりと活かしていきます。



子どもたちがリラックスした表情で、積極的に英語でコミュニケーションを楽しんでいる姿が印象的でした。先生方のきめ細やかな指導に感銘を受けました。



総務常任委員会
谷口 雅浩 副委員長

子どもたちが生き生きと学ぶ実践的な風景を目の当たりにし、大変有意義な時間となりました。本町の英語教育の確かな成果と今後の大きな可能性を感じました。



総務常任委員会
大熊 勝幸 委員